

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら広島井口教室		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日 ～ 2025年 10月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・安心感を持って通所できること	・契約時に、運営規程などを丁寧に説明し、保護者様のニーズや悩みに寄り添い、支援を行っている。 ・連絡帳などで、最近の悩みなど保護者様やお子様の些細な変化に関してお聞きし、情報を共有することでご家族様の悩みに寄り添った支援ができています。	・保護者様との信頼を築いていくため、些細な変化にも気づき、お聞きしていく姿勢を大切にしていく。 ・連絡帳やLINEでの連絡だけではなく、面談やお電話など保護者様との生のやりとりを大切にしていく。
2	・子ども達の活動に合わせた環境設定 ・過ごしやすい空間や集中できる場所を提供することで、遊びと支援のメリハリがつくと考えております。	・マットやカーベットを使用し、空間を視覚的に分けている。 ・ここは「○○ちゃんが使ってるからね」と、子ども達にも個々人の活動に合わせた場所を提供することを伝えている。	・マットなどで区切った場所を子ども達に、落ち着いて過ごせるようにするための場所と理解してもらえるように、声掛けをしていく。 ・食事や工作など集中するための環境設定としても使用していく。
3	・事業所のスタッフからの共感的な理解をされている。 ・保護者様は、お子さまの第一の理解者であり、大切な環境だと思っております。その保護者様の心身を安定させることで、お子さまの支援に繋がっていくことができると思っております。	・お子さまの話だけでなく、保護者様の変化や周囲の変化等のお話を聞くことで、情報を共有するとともに、保護者様へ親身になって接している。	・送迎時や計画書作成などの時に、保護者様とお話をする機会を持ち、日常的な会話やお子様の様子など気になった点を相談しやすい関係性を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母会等の開催がない。	・父母会などを開催した経験がなく、ノウハウがないため。 ・平日に落ちついて話せる場所がなく、会場設営などが困っていた。 ・	・放デイ、児発と分けてでも、保護者様同士の交流を目的とした会を開催したいと考えている。 ・教室では開催が難しいため、地域の公民館などをお借りしての開催を計画している。
2	・マニュアルなどの周知が不十分である。	・保護者様に対して、緊急時のマニュアル等の周知が不十分であり、内容が知られていない。 ・内容を伝えるにくい。	・面談時などに保護者様に対して説明する機会を作る。 ・いつでも閲覧できる場所に設置し、マニュアルの確認ができるようにしていく。
3	・避難訓練をしているか分からない。	・休日に避難訓練をしていることが多く、平日のみ通所する児童は避難訓練に参加しにくい。	・平日も避難訓練を実施するようにする。 ・大がかりな避難訓練は時間も取られ、開催しにくいいため、お話の中で災害などで避難することを伝えていく。